

広島大学大学院  
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム  
第5回リトリートを開催しました

平成27年7月10日（金）～11日（土）に、プログラム学生、教職員及び招聘講師の合計43名が参加して、寝食を共にしながら、学際的な広い視野でこれまでの学修の成果及び今後の課題を確認する第5回リトリート（テーマ「グローバルな情報社会に向けて」）を広島市国際交流会館（JMS アステールプラザ）において開催しました。

初めに小林正夫プログラムコーディネーターから開会挨拶があり、その後3月に実施した第3回グローバルフィールドビジットについての学生の報告並びに博士論文の研究内容の発表がありました。

2日目には、文部科学省科学技術・学術政策局次長岸本康夫氏から「第5期科学技術基本計画に向けた今後の科学技術イノベーション政策と人材育成」という演題で講演が行われ、放射線災害復興を推進するグローバルリーダーを目指すプログラム学生はもとより教職員にとっても非常に重要な学修機会となりました。その後、プログラム担当者のDion Clingwall 特任准教授、吉本由紀特任助教の研究紹介があり、第4回目の学生・教員意見交換会を開催し、闊達な意見交換を行いました。

最後に神谷研二プログラム責任者の挨拶があり、今回のリトリートは学生にとってグローバルリーダーとしての発信力を向上させる良い機会となりました。

文部科学省科学技術・学術政策局次長 岸本 康夫氏講演



リトリート会場の様子



学生・教員意見交換会の様子



神谷研二プログラム責任者 あいさつ

